

新議長・副議長に聞く



5月16日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に穂原成人議員、副議長に千住啓介議員が選任されました。議会の顔である2人に、市政の課題などについて聞きました。

パピオスあかし (明石駅前)

在職3期。
監査委員、文教厚生常任委員長、
建設企業常任副委員長など歴任。
41歳・中崎2丁目

副議長
せんじゅう けいすけ
千住 啓介

千住副議長に聞く
子供を守る
本市は、こどもを核としたまちづくりを進めています。一方で、市に寄せられる児童虐待の新規の相談件数は、平成25年度と比べると29年度には234件となり、1000件近く増加しています。子供を持つ親として、児童虐待が増えていることに心を痛めています。そのような中、今年度、全ての子供の幸せのために、一般社団法人あかしこども財団が設立されました。また、31年4月には、児童相談所を設置します。これらを核として、行政と議会がしっかりと両輪と

なり、児童虐待を根絶する施策を展開していきたいと考えています。
市民の皆様へ
来年には市制施行100周年を迎えます。これを機に身近にある明石のたからものについて、家族や友人と話し合ってください。明石の素晴らしさを再発見してもらいたいと思います。そして地元への愛着の積み重ねが、明石の活性化につながるものと考えています。今後とも、市民福祉向上のため、精一杯努力していきますので、より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

在職3期。
副議長、監査委員、議会運営委員長、
中心市街地再整備等特別委員長など
歴任。
59歳・二見町西二見

議長
あきはら なりひと
穂原 成人

穂原議長に聞く
中核市へ移行
今年4月に中核市へ移行し、県から福祉や環境、保健衛生分野などで約2000の事務が移譲されたことよって、より質の高い総合的なサービスの提供が可能になりました。その中でも、本市は保健所、動物愛護センター、児童相談所の設置を重点施策に位置付けています。市議会としては、住みたい、住み続けたいまち明石の実現を目指し、市と議論を重ねてまいります。
議会活性化の取り組み
未来を担う若者が議会や市政への関心を高め、

ふるさと明石への愛着を深める機会とするため、昨年度、初めて高校生議会を開催しました。より開かれた議会となるよう引き続き活性化を図っていきます。
市民の皆様へ
本市は中核市へ移行し、来年には市制施行100周年を迎えます。この節目の時に、二元代表制の一翼を担う議会が、その役割を十分に発揮するとともに、今後も、市民の意思を的確に市政へ反映するという議会に課せられた使命を果たすため、全力で取り組んでいきます。